

# 福井大学キャンパスマスタープラン 2012について



## キャンパスマスタープランの取り組み

### ■ 福井大学のアカデミックプランに基づいて立案

過去のマスタープランを継承し、教育・研究の変化、社会状況の変化等に柔軟に対応しつつ、発展進化するマスタープランを立案し、原則として今後6年ごとに施設整備の進捗状況や各種の変化に対応するための見直しを行う。

キャンパスマスタープラン2012では、主要5団地について作成した。

中期計画を見据えて6年

### ■ 取り組みのポイント

- |                        |   |  |   |                    |
|------------------------|---|--|---|--------------------|
| ① マスタープランをどう実現していくかが重要 | ➡ | 基本計画・設計に落としていく                               | ➡ | 福井大学設計標準仕様に取り込んでいく |
| ② 学生・教職員等の意見を反映        | ➡ | アンケートの実施                                     | ➡ | 今後のキャンパス計画に反映      |
| ③ 実現性が高く、先を見越したプランを提示  | ➡ | アクションプラン(6~12年後)とフレームワークプラン(30~50年後)を作成      |   |                    |
| ④ サステナブルキャンパスをどう実現するか  | ➡ | エコキャンパス計画の推進、エネルギー管理体制の整備、建物の長寿命化の検討         |   |                    |
| ⑤ 戦略的な施設マネジメントの推進      | ➡ | 資金の確保を含む戦略的な施設マネジメントが必要                      |   |                    |
| ⑥ 施設マネジメントの視点を分類、見える化  | ➡ | 施設マネジメントの視点をクオリティー、スペース、リスク、コストに分類し、明確化、見える化 |   |                    |
| ⑦ 本学の実情等に適した施設マネジメント   | ➡ | 実施可能なマネジメントモデルの構築                            | ➡ | 福井大学施設マネジメントモデルを立案 |
| ⑧ キャンパス整備にも大学への愛着を     | ➡ | 福井大学出身の若手職員が担当(アドバイザーが支援を行う)                 |   |                    |

## 1. キャンパスマスタープランについて

本学の理念、教育・研究・医療及び社会貢献等における目標を具現化するアカデミックプランに基づき、大学キャンパスにふさわしい施設環境の整備と持続的維持・運用は、継続的に実施すべき重要な経営課題であり、それを効率的、かつ戦略的に推進する為に『キャンパスマスタープラン』の策定は欠かせないものである。

「キャンパスマスタープラン2012」は、これまでの2007版、2009版を原則継承し、キャンパスの望ましい将来像を明確に描きながら、今後、本学が具体的に施設整備を進め、整備された施設・設備等を具体的に維持・運用するための基本的な方向を示す『ガイドライン』として作成する。

現状キャンパスの課題を再整理し、30年～50年後のキャンパスを計画する「キャンパス・フレームワークプラン」および、その実現を図るため、今後6年～12年後までの改修・改築などの具体的なキャンパス整備を計画する「キャンパス・アクションプラン」、また、経営的視点から現有施設の有効活用や施設の機能・性能水準を中長期に渡り保つための「施設マネジメントの推進」で構成する。

### ■基本目標・基本方針

次に示す、3つの基本目標とそれを実現するために具現化した7つの方針を立案。

## 2. 「キャンパスマスタープラン2012」の目標・方針

### 1)基本目標

- ①「教育」・「研究」・「医療」等の基盤を支えるサステイナブルキャンパス
- ②地域・社会・国際貢献に資する、人が集い、知の交流の場となるグローバルキャンパス
- ③安全・安心で快適なユニバーサルキャンパス

### 2)基本方針

施設整備の基本目標を実現するため、以下の基本方針により中長期的な施設整備・維持管理・運用計画を立て、これに基づき整備を進める。

- ①高度化・多様化する教育、研究、医療等に発展的に対応可能なキャンパスづくり
- ②大学の特色や教育研究成果の情報発信拠点としてのキャンパスづくり
- ③地域から国際社会まで幅広く貢献できる人材を育むキャンパスづくり
- ④福井らしさを感じさせる、個性豊かで魅力ある美しいキャンパスづくり
- ⑤学生・職員や外国人・地域住民等が集い、知の交流を促すキャンパスづくり
- ⑥安全性を優先し、誰もが安心・快適に活動できるユニバーサルキャンパスづくり
- ⑦地球環境保全や健康、QOLに配慮した緑豊かな美しいエコキャンパスづくり

### 3. キャンパス及び施設の概要(現状と課題)

#### ■分散キャンパスの課題

主要キャンパス(文京・松岡・二の宮・ハツ島・敦賀)は、福井市内、永平寺町、敦賀市内と、福井県嶺北・嶺南に点在している。

#### ■施設の耐震化の状況

耐震化対象建物で未改修のものは文京、松岡、二の宮キャンパスでは5%である。

ハツ島キャンパスでは43%であるが、平成25年度に改修完了の予定である。

#### ■現状と課題

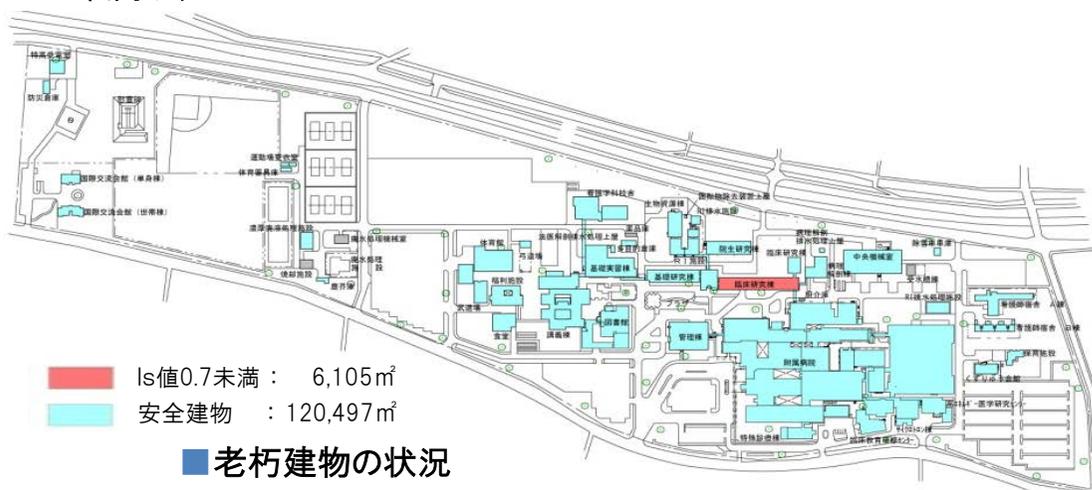
キャンパスの現状を調査し、課題の把握を行う

- ・福井大学の地域特性・気象条件、キャンパスの立地条件、分散キャンパスの課題等
- ・キャンパス全体構成の分析、施設ゾーニング、建物配置、交通動線・駐輪・駐車場、緑地、人口分布・人の動線(時間経過) インフラ設備・外部インフラ条件
- ・建物の劣化状況調査(経年数、耐震性能、物理的劣化、機能的劣化、新たな教育・研究への対応状況狭隘度等)
- ・キャンパス周辺状況、外から見たキャンパス、キャンパスの開放度、周辺環境への影響
- ・教育研究活動と施設の整備状況、利用・活用状況、全学共用スペースの利用状況
- ・学生、教職員等のアンケートによる不満や要望、今後のキャンパス整備のあり方等に関する意見の吸い上げ

#### ▼文京キャンパス



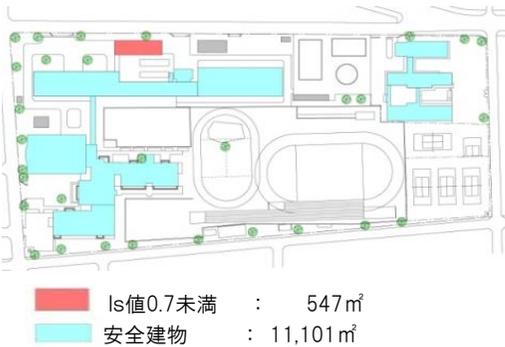
#### ▼松岡キャンパス



#### ■老朽建物の状況

文京、二の宮では老朽建物の割合が増えてきており、改築を含めた検討が必要。松岡、ハツ島は機能改修の検討が必要。

#### ▼二の宮キャンパス



#### ▼ハツ島キャンパス

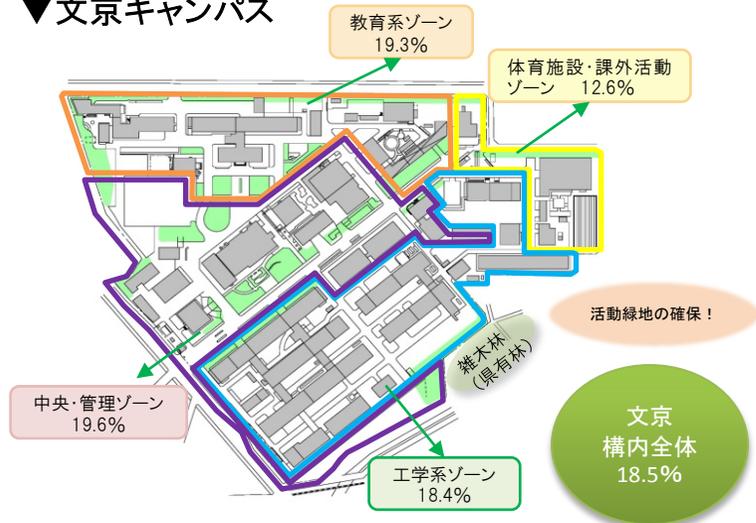


	文京	松岡	二の宮	ハツ島
経年41年以上	49 %	0	36 %	0
経年40年～31年	13 %	21 %	12 %	87 %
経年30年～21年	6 %	46 %	39 %	0
経年20年以下	32 %	33 %	13 %	13 %
経年30年以上で機能改修済み	77 %	16 %	66 %	0

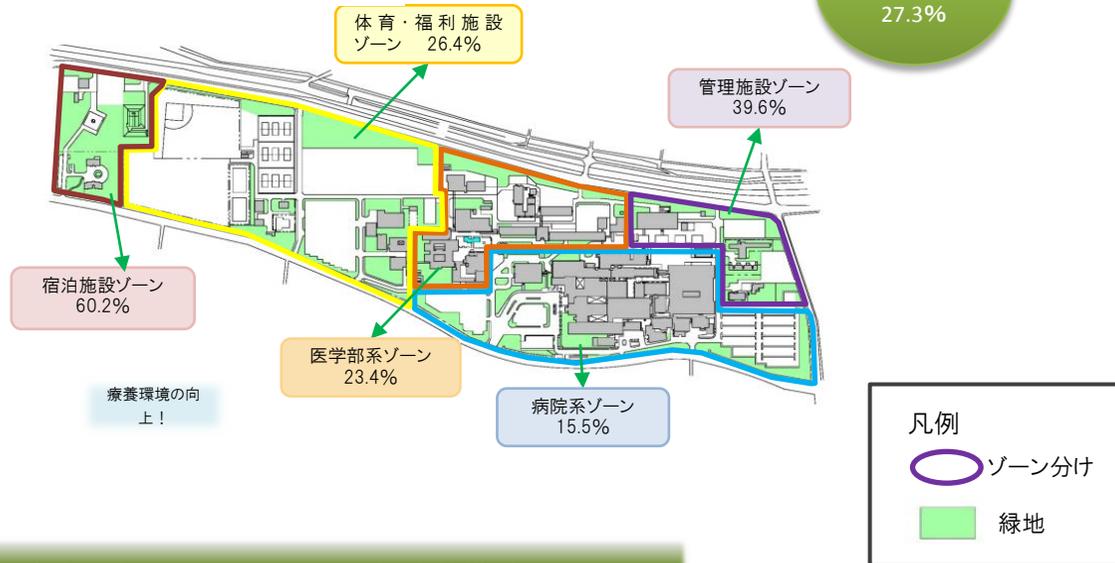
## 緑地

各キャンパスにおいて緑地率は十分でなく、適切な樹種の選定やニーズに適した緑地の整備が求められている。

### ▼文京キャンパス

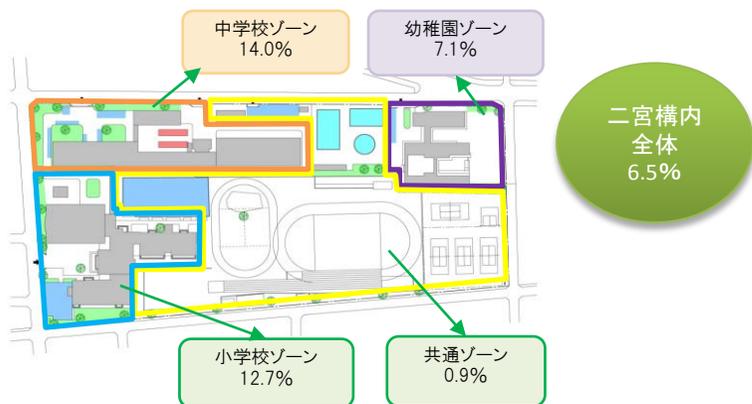


### ▼松岡キャンパス



人と自然が共生する美しいキャンパス → 緑地整備が必要！

### ▼二の宮キャンパス



### ▼ハツ島キャンパス



### ■緑地整備に関する課題

- ①学内アンケートによる、緑地に対するニーズの反映。
- ②緑地が与える効果や利用目的を配慮した配置。
- ③キャンパス全体で一体感を感じられる樹種の選定。
- ④緑地面積の確保。

## ■ キャンパス動線、駐車・駐輪場

車社会である福井において、車両と歩行者の良好な共存関係構築は重要な課題である。

### ▼ 文京キャンパス

慢性的な駐車  
車場不足

小規模駐車  
場が点在



路上駐車であふれている



除雪により駐車場が減少

人と車両が共生する安全なキャンパス  
→ 交通計画が必要！

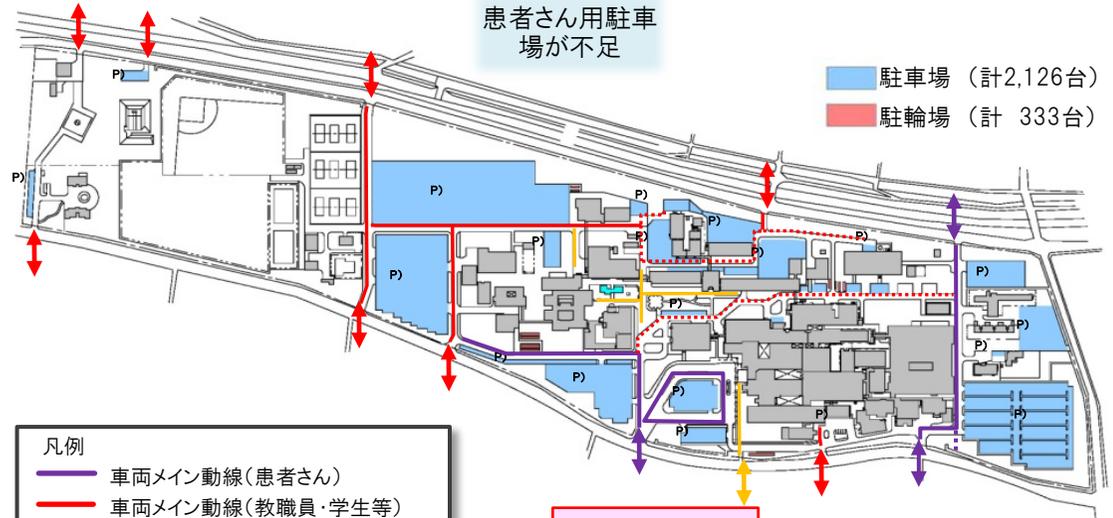
福井県では車が  
ないと...



乱雑な駐輪で景観が損なわれている

### ▼ 松岡キャンパス

患者さん用駐車  
場が不足



凡例

- 車両メイン動線(患者さん)
- 車両メイン動線(教職員・学生等)
- ..... 車両サブ動線
- 歩行者動線

松岡団値(病院)  
はゲートが未整備

### ■ 動線、駐車場等整備に関する課題

- ① 交通量調査による、利用時間や利用エリア、利用者別等の観点から求められる駐車場の在り方。
- ② 明快な歩車分離や動線の整理による安全性の向上。
- ③ 車両乗り入れ区域の制限を行い、わかりやすさの向上。
- ④ 駐車台数の不足、分散駐車場の解消。
- ⑤ 敷地の効率的利用と利便性向上に繋がる立体駐車場の設置。
- ⑥ 整備資金の調達と有料化(自動車入構ゲート導入を含む)

## キャンパス・フレームワークプラン ～キャンパス長期ビジョン～(30年～50年後を見越したキャンパスプラン)

### ■キャンパス・フレームワークプラン策定の基本方針(全キャンパス共通)

キャンパスを長期的視点から、適切に計画・利用していくために、機能別ゾーニングや土地利用、交通、緑地等の空間形成の骨格とユニバーサルデザイン、地球環境保全、QOL (Quality Of Life)向上等の基本方針を示すサステナブルキャンパスとしてのフレームワークプランを立案する。施設は教育・研究の時代に合わせた社会的要求を適切に満足する必要がある、その要求を本学キャンパス内で効率的に実現するため、建物を個別に計画せず、キャンパス内を目的別・用途別に設定し、教育・研究効果や施設利用効率が高められる計画とする。

### ■フレームワークプラン策定における基本方針を次のとおりとする

#### (1) 効率的な敷地利用計画

建物を効率的・機能的に計画するため、キャンパス内を機能に応じてゾーニングする。  
キャンパス内部は歩車道を分離し、緑地や交流広場を増やし、キャンパスの安全・安心・利便性の向上を図り、学内構成員のQOLを向上する。

#### (2) グリーンキャンパス計画

緑豊かな美しいキャンパスとするため、緑地と建物の面積バランスに配慮し、キャンパス内における気候の緩和や、潤いと安らぎを醸し出す緑地、学内構成員同士や地域住民等とのコミュニケーションを図る緑地や広場、キャンパス周辺と調和を図る緑地、建物周辺にあつて建物環境を改善する緑地等を適切に計画する。

#### (3) 建物の有効利用と改築・改修計画

キャンパス空間の維持・向上を図るため、建築後50年以上が経過し、構造体が劣化し、良好な教育・研究環境の再生が困難と判断された建物はLCC及びLCCO<sub>2</sub>の削減を勧奨して改築する。

#### (4) キャンパスデザイン計画

キャンパス全体で建物デザイン、色調、高さ、壁面線等の調和を図るとともに、キャンパス外構である広場・街路・緑地、サイン、ファニチャー、照明、駐車場、ゴミ箱等について統一したデザインを採用する等ランドスケープを考慮した美しいキャンパスデザインを行う。

#### (5) ユニバーサルデザイン

大学を訪れる全ての人が安全・安心に利用できるよう、キャンパスとその施設は、ユニバーサルデザインに基づいて、身障・健常者別、身体的条件、性別、年齢、国籍、宗教、知的能力、運動能力等の区別なく全ての人にとってバリアフリーとなること、多様性を受け入れることでグローバル化を目指す。

#### (6) エコキャンパス計画

環境負荷の低減と省エネルギー対策を積極的に推進し、地球環境に優しいエコキャンパスを実現するため、建物の高断熱・高遮熱・高气密を図るとともに日射を制御(抑制・導入)するデザインを採用する等建物のパッシブソーラー化を図る。エネルギー供給システムにロバスト性を持たせる。

ESCO事業(管理一体型)を計画

H25「地(知)の拠点事業(大学COC事業)」に採択

#### (7) 地域コミュニティ・オン・キャンパス計画

地域の活性化、多様な発展を遂げる核としてキャンパスの価値が最大限に利用されるよう、地域社会と連携を図りやすいキャンパスを目指す。「COC(Center Of Community)構想」を推進し、大学の学び・研究の資産が見えやすく、積極的に活用されやすい、地域に根付いた知の拠点として地域住民を始め、教育・研究・医療・福祉・国際等幅広い分野の人々が訪れやすい環境を計画する。

#### (8) 施設・スペース活用計画

大学の施設・スペースは、教育・研究・医療等の用に資するスペースを中心に配置されているが、面積は逼迫している状況であり、部分的に慢性的狭隘状況にある。これらの問題を解決するためには、施設の面積現況とその利用状況を常に把握(データベース化)し、スペースの流動化を図り、増加する施設需要に柔軟に対応する必要がある。これらの具体的手法について計画する。

# キャンパス・フレームワークプラン ～キャンパス長期ビジョン～(30年～50年後を見越したキャンパスプラン)

## ■文京キャンパス

- 『メインストリート』のキャンパスモール(遊歩道)化
- 外周道路及び駐車・駐輪場の集約化
- ゾーン毎の緑地・交流スペースの配置
- メインストリート沿いの中央広場化
- 正門周辺の交流の場の設置
- 地域への圧迫感を軽減
- 建物高層化・複合化による緑地・広場の確保
- 門周辺建物のピロティ化による駐輪場確保

### 効率的な敷地利用計画

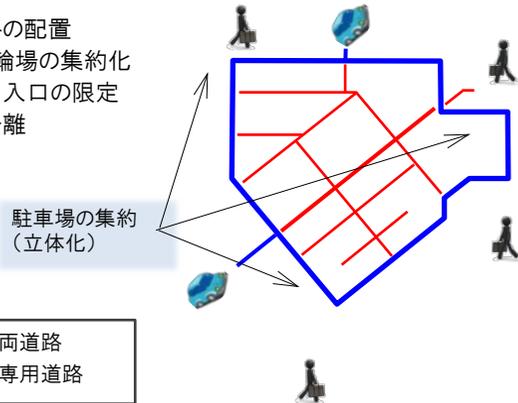
- 機能別ゾーニング計画
- 建物の高層化による敷地利用の効率化
- キャンパスの安全・安心・利便性の向上による学内構成員のQOLの向上



フレームワークプラン図

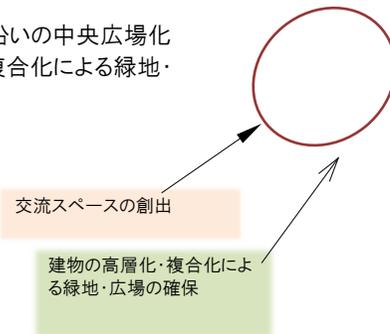
### 交通・導線計画

- 外周道路の配置
- 駐車・駐輪場の集約化
- 自動車出入口の限定
- 歩車道分離



### グリーンキャンパス計画

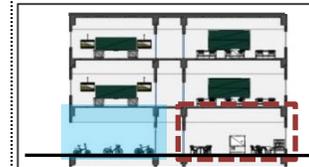
- キャンパスモール(遊歩道)化
- ゾーン毎の緑地・交流スペースの配置
- メインストリート沿いの中央広場化
- 建物高層化・複合化による緑地・広場の確保



■文京キャンパスイメージ

### キャンパスデザイン計画

- 建物形態、壁面線、スカイライン等調和と連続性の保持
- 公共性建物のアクセント形態等の採用
- 各種ファニチャーによる、地域住民等との交流広場整備
- 大学の顔となるシンボルの整備
- 建物低層部へのコミュニティスペースの確保
- ピロティ化部分の駐輪場利用



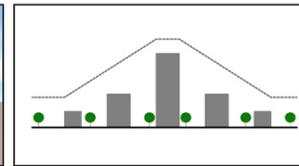
コミュニティスペース・駐輪場確保



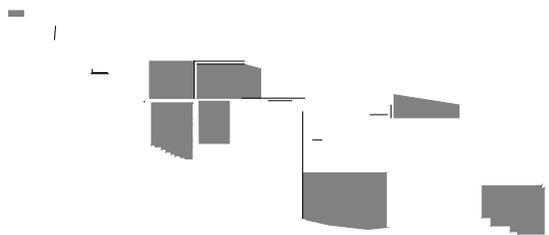
建物形態、壁面線、スカイラインの調和と連続線の保持



広場の確保及びファニチャーの設置



原則的に敷地周辺部を低層から中層とし、中心部を高層エリアとすることで、地域への圧迫感を軽減



## ■二宮キャンパス (幼稚園、小学校、中学校)

- 大学と附属学校の緊密な連携の強化
- 学びのエリアの設定・構築
- 中学校校舎のフレキシビリティのある改築計画
- 小学校校舎の有効活用
- 幼稚園・小学校・中学校現場を大学院の学び舎に「拠点校方式」  
(教職大学院が融合した附属学校園の整備)

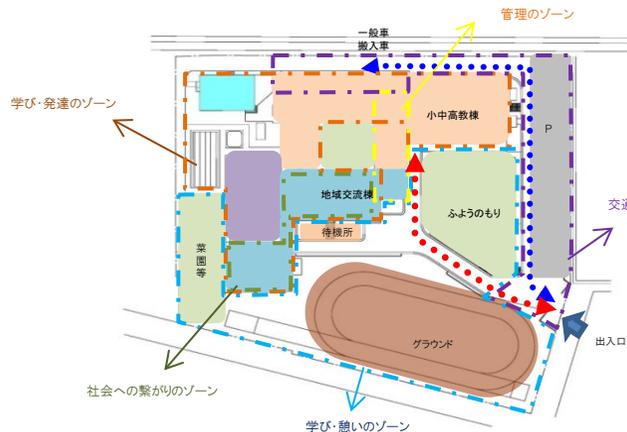


フレームワークプラン図

## ■八ツ島キャンパス (特別支援学校)

### プラン(1)

- 中庭と「ふようのもり」との連続的接続
- 特別支援センター機能の強化
- 北側の眺望を取り込む教室配置
- シンボル「平和の楽園」の壁画の適切な維持



フレームワークプラン図

### プラン(2)

- 駐車場の集約化による歩者分離
- 中庭と「ふようのもり」との連続的接続
- 南側の良好環境を取り込む教室配置
- シンボル「平和の楽園」の壁画の適切な維持



フレームワークプラン図

### 整備の方針・考え方

- 教育(子ども)  
安全安心な環境の中で、自主的に学べ、協同の下にコミュニティが生まれる施設環境の整備
- 教育(学生・教師)  
学び続ける教員を支えていく機能的な施設環境の整備
- 教育研究  
世代をつなぎ、地域と連携した教育を創造する、社会的な施設環境の整備
- 地域貢献  
生涯学習を支え、地域における文化のシンボルとして誇れる施設環境の整備

### 整備の方針・考え方

- 教育(子ども)  
安心安全な環境の下で、集団の中で個を育て、経験を通して生活力をはぐくむ施設環境の整備
- 教育(学生・教師)  
学び続ける教員を支えていく機能的な施設環境の整備
- 教育研究  
生活教育を基盤とした特別支援教育推進のための、「生活」と「学習」が一体となる施設環境の整備
- 地域貢献  
地域に開かれた、インクルージョン教育の拠点となる施設環境の整備

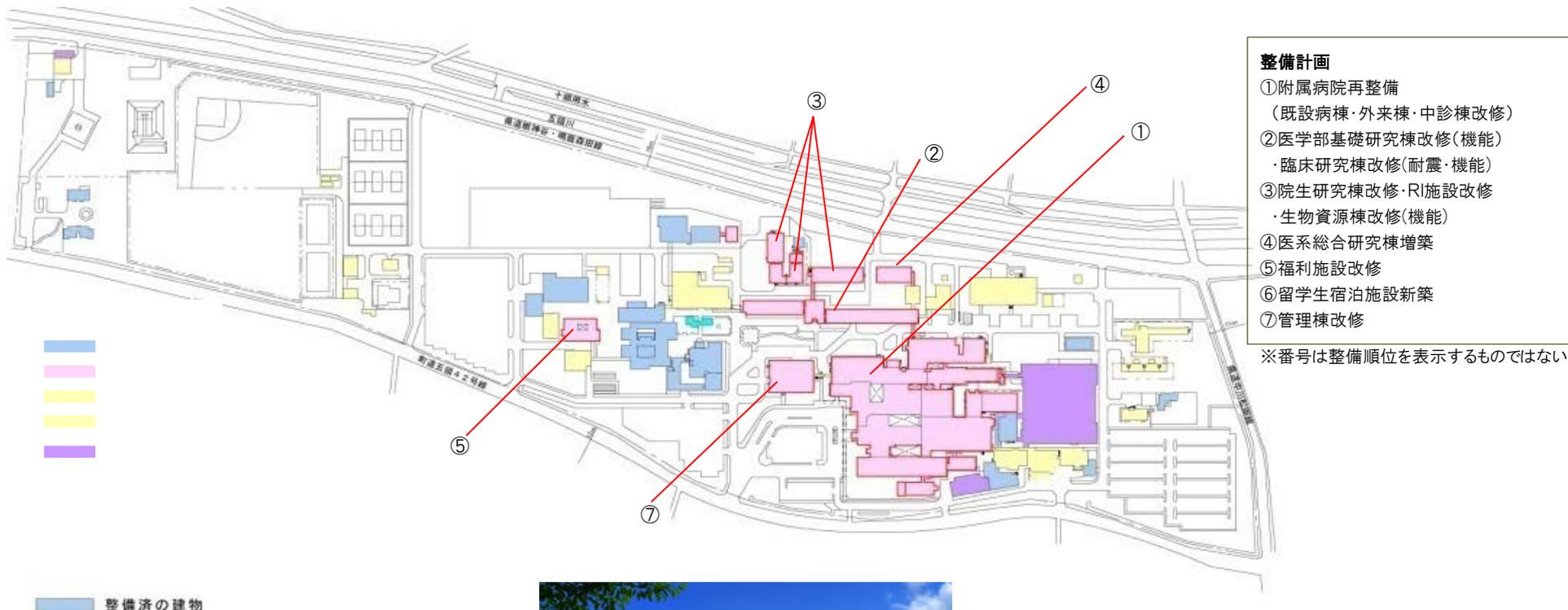


- Blue
- Pink
- Yellow
- Yellow
- Purple

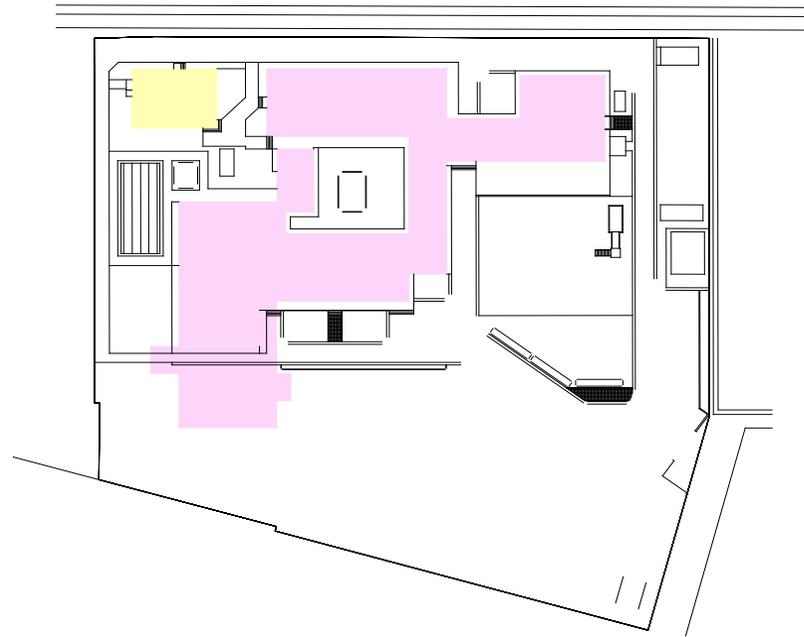
## 松岡キャンパス

- ・ 医学教育・研究や地域住民等から大きな期待が寄せられている地域医療の拠点としての役割を果たすためのキャンパスの整備
- ・ 医学部の定員増に伴う施設の狭隘化の解消による教育・研究設備としての機能強化
- ・ 附属病院新病棟完成後、既存病院の改修による、病院機能向上及び既存施設の有効活用

### ▼整備計画図



新病棟イメージ



## 6. 戦略的な施設マネジメントの推進

- キャンパスや施設を教育・研究・医療・社会貢献等の活動に効率的に利用・活用
- 利用ニーズに応じたスペースの再配分や、施設の機能・環境を一定の水準以上に保持
- 福井における知の拠点にふさわしい施設環境を持続・運用し、新たなニーズ等に対応する施設整備



施設マネジメント  
の推進

### 施設マネジメントの基本方針

施設マネジメントの  
基本的な視点の明確化

施設マネジメントの  
見える化

本学の実情等に適した  
施設マネジメントモデルの構築

#### ■戦略的な施設マネジメントの推進

- ・キャンパスマスタープランを確実に計画的に実現するためには、資金の確保を含む戦略的な施設マネジメントが必要との全学的な認識の元に、施設マネジメントの実施体制と基本方針、具体的な取組事項を立案する。

#### ■施設マネジメントの現況の把握

- ・現行の施設マネジメント体制の把握と課題を抽出する。
- ・現行の財務構造と施設整備費の確保の把握と課題を抽出する。

#### ■施設マネジメントの基本方針

- ・施設マネジメントの基本的な視点を明確化し、何をなすべきかを見える化する。
- ・基本的な視点をクオリティ、スペース、リスク、コストの4つに分類し、明確化する。

#### ■施設マネジメントの見える化

- ・全構成員に対しての説明責任、施設整備の進捗状況・活用状況、エネルギー使用状況、環境保全対策等の見える化により、施設・環境等への関心を持ってもらい、施設マネジメントへの参画を促す。

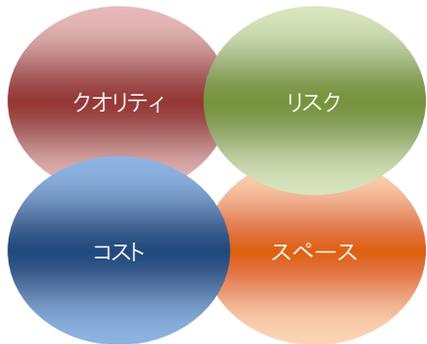
#### ■本学の実情等に適した施設マネジメントのモデルの構築

- ・お仕着せのモデルではなく、本学で実施可能なマネジメントモデルの構築が重要であるという認識から、福井大学施設マネジメントモデルを立案する。

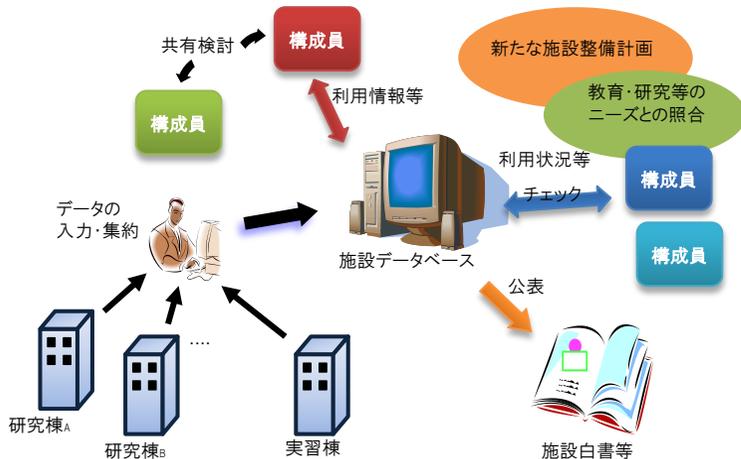
#### ■施設マネジメントの具体的な取組事項

- ・具体的な取組事項として、データベースの作成・運用、施設整備の優先順位の方針設定、建物管理の一元化への取組、データベースを活用したスペースマネジメントの実施、施設整備費等の確保の多様化、外部組織との協議・連携の促進の6項目を設定する。

施設マネジメントの  
基本的な視点の明確化

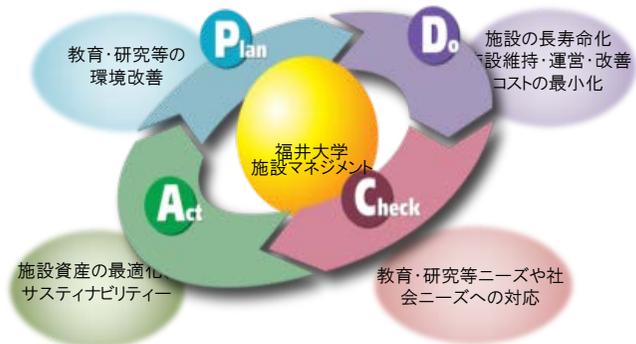


施設マネジメントの  
見える化



施設マネジメント見える化のイメージ図

本学の実情等に適した  
施設マネジメントモデルの構築



施設マネジメントモデルのイメージと期待される効果

具体的な取組事項

■ 施設の利用・活用調査

効率的なマネジメント実践のため、ニーズの把握や利活用状況等の現状把握を行い、データベース化する。

■ 建物管理情報の一元化

「建物カルテ」等のデータベースを用い、キャンパス全体でバランスの良い施設管理・運営業務を行う。

■ スペースマネジメント

ニーズ・動向に合わせてスペースの集約・統合や再配分を行う。

■ 施設整備費等の財源確保

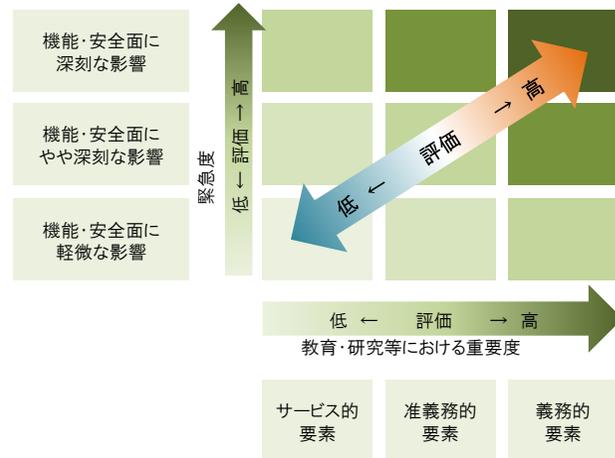
多様な財源、中長期保全計画、スペース・エネルギーチャージ等の活用を検討する。

■ 外部組織との協議・連携

地方自治体や産学連携による施設活用や借用による維持費の軽減等を推進する。

■ 施設整備の優先順位

施設ポートフォリオ等による整備優先順位の明確化を検討する。



施設ポートフォリオによる優先度判定の例

# キャンパスマスタープラン等のホームページ

福井大学 University of Fukui

創造力、実践力。 **福井大学** UNIVERSITY OF FUKUI

お問い合わせ | サイトマップ | 交通アクセス | English

- 受験生の方へ
  - 在学生の方へ
  - 保護者の方へ
  - 卒業生の方へ
  - 企業・研究機関の方へ
  - 地域の方へ
- 大学案内**
  - 学生生活・試練
  - 研究・産学連携
  - 学部・大学院・附属施設
  - 採用情報
- 理念・目標
  - 計画・評価
  - データ
  - 情報公開
  - 学長挨拶
  - 財務・調達情報
  - 社会貢献
  - 広報・刊行物等
  - 役員・組織
  - 施設への取り組み**
  - 環境の質
  - 教職員表彰



お知らせ  
2013年8月5日 平成25年度文部科学省事業「地（国）の拠点整備事業（大学COC事業）」に掲載されました

ホームページからの場合

大学案内 - 福井大学 University of Fukui

創造力、実践力。 **福井大学** UNIVERSITY OF FUKUI

お問い合わせ | サイトマップ | 交通アクセス | English

- 受験生の方へ
- 在学生の方へ
- 保護者の方へ
- 卒業生の方へ
- 企業・研究機関の方へ
- 地域の方へ

- 大学案内
- 学生生活・試練
- 研究・産学連携
- 学部・大学院・附属施設
- 採用情報

ホーム > 大学案内



- 理念・目標**
  - 理念
  - 長期目標
- 学長挨拶**
  - 学長あいさつ
  - 学長式辞
- 役員・組織**
  - 役員一覧
  - 学長
  - 理事
  - 監事
  - 組織
- 目標・計画・評価等**
  - 中期目標・中期計画
  - 中期目標に係る経費（平成16～19年度年度別）
  - 年度計画
- 財務・調達情報**
  - 決算
  - 監査
  - 調達情報
- 施設と環境への取り組み**
  - 施設と環境**

医学部附属病院  
教育・研究のコンテンツ  
福井大学施設と環境

**福井大学 施設と環境**  
Facility and Environment

グローバルな視点でサステイナブルキャンパスを構築する

トップページ | プロフィール | 施設企画課 | 環境整備課 | 環境ISO | お問い合わせ | サイトマップ

福井大学 財務部 施設企画課・環境整備課  
Finance Department Facilities Planning Division  
Environment and Facility Maintenance

キャンパス・施設・設備等の整備を通じ、総合的な施設・環境マネジメントを実施することにより、先導的・先進的な施設環境と、安全・安心なキャンパス環境の構築、キャンパスライフのQOL(Quality Of Life)の充実等を図ります。

福井大学 施設整備等と環境ISOに関する情報をお知らせします

お知らせ

**EVENT 行事**

福井大学 松岡キャンパス 環境ISOユニット代表者連絡会について  
平成25年9月11日(水)17:00～18:00 松岡キャンパス 環境ISOユニット代表者連絡会を開催いたします。各種資料は下記からダウンロードをお願いいたします。

- ▶【資料】平成24年度エネルギー・水とゴミ・水と緑について
- ▶【要届出】環境ISOアンケート(個人・ユニット代表者) 提出期限：9月18日(水)まで
- ▶【要届出】教育実施報告書 提出期限：9月27日(金)まで
- ▶【要届出】実施計画書 提出期限：9月18日(水)まで
- ▶【資料】市民公開シンポジウムについて

お知らせ

**ECO 環境活動**

福井大学 環境報告書2013について

**施設と環境**  
-Facility Management and Environmental Management-

施設マネジメント  
Facility Management

キャンパスマスタープラン  
Campus Master Plan

環境マネジメント  
Environmental Management

環境報告書  
Environment Report

キャンパス電力使用量

施設と環境

直接検索の場合

Yahoo等の検索窓に  
福井大学施設と環境

クリック

設計標準仕様  
等はこちら

キャンパスマスター  
プラン2012